

からだは地球からできている

佐治博士の♪春のレクチャー

—国連大学ゼロエミッションフォーラム IN IIDA—

■ 基調提案

国連大学ZEF 坂本憲一
「みどりの地球を次世代へ」
—伝統と文化を活かして持続可能な飯田へ—

■ 笛演奏

雲 龍
「地球のかけらの響き」

■ 記念講演

鈴木短大学長 佐治晴夫
「からだは星からできている」

3月20日(木) 春分の日

と き：午後1時～4時 (開場12時30分)

ところ：飯田市公民館ホール

参加費：大人 1,000円

高校生以下 500円

(当日・前売りとも同額になります)

- 主 催 国連大学ゼロエミッションフォーラム / 飯田市企画課・環境課 / STELA WINDOW
- チケット 飯田市役所・平安堂・アートハウス・バオバブ・アンジェラ
- お問い合わせ 0265-22-4511 飯田市環境課(内線5245)・企画課(内線2221)
0265-52-3608(アンジェラ)



国連大学

UNITED NATIONS
UNIVERSITY

国連大学は、平和や環境など世界的な諸問題に対し、人類の未来をつくる立場から学術的な研究を行う国連が創設した政策提言や人材開発等を任務とする大学で、日本が唯一、本部機能を持つ国連組織です。



ゼロエミッションとは、排出物ゼロの意味ですが、究極的には持続可能な社会形成を目指しています。

国連大学ゼロエミッションフォーラム（ZEF）はゼロエミッションの社会を実現するために、毎年、日本各地でフォーラムを開催しています。

今回の飯田の催しもこの国連大学ZEFが主催するゼロエミッションフォーラムの一環として開催されます。

ゼロエミッション



基調提案講師



坂本 憲一

1995年、国連大学に入り、UNU/ZERIプロジェクトに参画。ゼロエミッションの理論構築および普及活動を担当。ZEFプロジェクト・アドバイザー。東京大学工学部応用化学科を卒業、同大学大学院博士課程を1960年修了。同年工学博士。日本軽金属在任中から、現在にいたるまで種々の公的活動にも従事しており、東海大学・非常勤講師（材料工学）、通産省・基礎新素材専門委員、運輸省・リサイクル港湾構想調査委員、世田谷区・行政改革推進委員、東京都環境科学、日本学術振興会・未来開拓学術、徳島県・エコタウン推進、富山県・循環資源活用、那覇市地域新エネルギービジョン等の研究会に携わってこられた。

記念講演



佐治 晴夫

理学博士。鈴鹿短期大学学長。東京生まれ。東京大学物性研究所、玉川大学教授などを経て04年から現職。日本理科学検定協会会長。日本数学検定協会理事。日本宇宙少年団理事。量子論的無の“ゆらぎ”からの宇宙創生理論のほか、NASAのボイジャー計画やE.T.（地球外知的生命体）探査にもかかわっている。またパイプオルガン演奏で始める宇宙論講義や天文台で“真昼の星”を見せるなど文系・理系の枠を超えた教育の実践でも知られる。「宇宙の不思議」「宇宙はすべてを教えてくれる」「わかることはわかること」「夢みる科学」「からだは星からできている」など著書多数。

演奏



雲 龍

1962年大阪生まれ。幼い頃より笛に親しみ、鞍馬山、出雲、吉野、富士山、高千穂ほか、さまざまな「場」で笛を吹く。横笛をはじめ土笛、木の葉の笛、コアガラスの笛、ネイティブアメリカンフルートなど数多くの笛を演奏する。信州高遠美術館「平山郁夫」展、ワタリウム美術館岡本太郎ほか出展の「大地の精神」展、横尾忠則&細野晴臣「アートパワー」展で演奏。2003年第3回水フォーラム国連開発計画およびユネスコ共催「水と教育」セレモニーにて演奏。2006年NHK土曜ドラマ『ウォークス』の音楽を担当する。1997年より細野晴臣with環太平洋モンゴロイドユニットのメンバーとしても活動を始める。

STELA WINDOW

STELA WINDOWは、昨年10月26日（金）及び28日（日）飯田市で行われ、約300人を動員した映画「地球交響曲第6番」を実施するために設立された市民によるグループです。

P は、市営駐車場の他、合同庁舎・市役所などをご利用下さい。

